

川崎病(免疫グロブリン療法パス)(15～20kg未満)（PED005）

ステップ名称			免疫グロブリン療法		グロブリン終了後			グロブリン終了後
			1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
患者状態			■合併症の症状・所見がない ・循環動態が安定している ■治療について理解できる ・治療に対する不安の訴えがない		■発熱がない ・体温【適正值：≤37.5℃】			■発熱がない ・体温【適正值：≤37.5℃】
知識・教育・理解								
投薬								
注射			 持続点滴による補液と免疫グロブリンの点滴投与を行います。	 持続点滴による補液と免疫グロブリンの点滴投与を行います。	 引き続き持続点滴による補液を行います。	 引き続き持続点滴による補液を行います。 点滴が漏れたら、医師に報告します。医師から許可が出たら点滴が中止になります。	 引き続き持続点滴による補液を行います。 点滴が漏れたら、医師に報告します。医師から許可が出たら点滴が中止になります。	 引き続き持続点滴による補液を行います。 点滴が漏れたら、医師に報告します。医師から許可が出たら点滴が中止になります。
								
医師	処置							
			免疫グロブリン療法中は、異常の早期発見が出来るよう、心電図モニターとパルスオキシメーターを装着します。免疫グロブリン療法が終了したら、外します。	免疫グロブリン療法中は、異常の早期発見が出来るよう、心電図モニターとパルスオキシメーターを装着します。免疫グロブリン療法が終了したら、外します。				
	指導		 トイレへの歩行、洗面のみ出来ます。プレイルームへの入室は出来ません。	  トイレへの歩行、洗面のみ出来ます。プレイルームへの入室は出来ません。	  トイレへの歩行、洗面のみ出来ます。プレイルームへの入室は出来ません。	 プレイルームの入室が出来ます。	  プレイルームの入室が出来ます。	  プレイルームの入室が出来ます。
			 体温・脈拍・血圧を適宜測定に伺います。	  体温・脈拍・血圧を適宜測定に伺います。	  体温・脈拍・血圧を適宜測定に伺います。	 体温・脈拍・血圧を適宜測定に伺います。	 体温・脈拍・血圧を適宜測定に伺います。	 体温・脈拍・血圧を適宜測定に伺います。
								
								
								
								
	対症指示							
	検査	検体検査				 血液検査があります。		 血液検査があります。
生理検査								
放射線								
その他								
輸血								
手術								
看護	日常生活ケア	清潔	 タオルで体を拭きます。	  タオルで体を拭きます。	  タオルで体を拭きます。	 タオルで体を拭きます。 持続点滴が抜けている場合は入浴が出来ます。	  タオルで体を拭きます。 持続点滴が抜けている場合は入浴が出来ます。	  タオルで体を拭きます。 持続点滴が抜けている場合は入浴が出来ます。
		排泄 その他						
	指導・教育		 パスの説明をします。	  パスの説明をします。	  パスの説明をします。	  パスの説明をします。	  パスの説明をします。	  パスの説明をします。
	観察		 内服薬は血管の炎症をおさえるための大事なお薬です。内服出来ないときは看護師に申し出てください。	  内服薬は血管の炎症をおさえるための大事なお薬です。内服出来ないときは看護師に申し出てください。	  内服薬は血管の炎症をおさえるための大事なお薬です。内服出来ないときは看護師に申し出てください。	  内服薬は血管の炎症をおさえるための大事なお薬です。内服出来ないときは看護師に申し出てください。	  内服薬は血管の炎症をおさえるための大事なお薬です。内服出来ないときは看護師に申し出てください。	  内服薬は血管の炎症をおさえるための大事なお薬です。内服出来ないときは看護師に申し出てください。
その他								
食事			 普段通りの食事を摂ってください。	 普段通りの食事を摂ってください。	 普段通りの食事を摂ってください。	 普段通りの食事を摂ってください。	 普段通りの食事を摂ってください。	 普段通りの食事を摂ってください。
栄養指導 リハビリ								
文書			 医師より免疫グロブリン療法について説明があります。「特定生物由来製品（輸血・血漿分画製剤等）の使用に関する説明と同意」の書類に署名の上、提出願います。					
			 入院時、入院誓約書及び支払保証書、患者家族付添申請書を提出してください。					
カルテ	医師 看護師 コメディカル							
コメント								
指導料・加算								

川崎病(免疫グロブリン療法パス)(15～20kg未満)（PED005）

ステップ名称			グロブリン終了後		グロブリン終了後	
			7日目	8日目	9日目	10日目
患者状態 知識・教育・理解			■発熱がない ・体温【適正值：≤37.5℃】		■検査データに問題がない ・心エコー所見に問題がない	
					■日常生活の注意点について理解できる ・退院後の生活に対する不安の訴えがない	
投薬						
注射						
医師	処置					
	指導					
			➡ プレイルールの入室が出来ます。	➡ プレイルールの入室が出来ます。	➡ プレイルールの入室が出来ます。	➡ プレイルールの入室が出来ます。
			➡ 体温・脈拍・血圧を適宜測定に伺います。	➡ 体温・脈拍・血圧を適宜測定に伺います。	➡ 体温・脈拍・血圧を適宜測定に伺います。	➡ 体温・脈拍・血圧を適宜測定に伺います。
			➡	➡	➡	➡
			➡	➡	➡	➡
	対症指示					
検査	検体検査				 血液検査があります。	
	生理検査					
	放射線					
	その他					
輸血手術						
看護	日常生活ケア	清潔	➡ タオルで体を拭きます。持続点滴が抜けている場合は入浴が出来ます。	 持続点滴を抜いた後で入浴が出来ます。	 入浴が出来ます。	➡ 入浴が出来ます。
		排泄				
		その他				
	指導・教育		➡ パスの説明をします。	➡ パスの説明をします。	➡ パスの説明をします。	 次回の受診日の確認をします。次回、生ワクチンの予防接種は6ヵ月以降にしてください。スケジュールは外来で主治医と相談しましょう。
	観察		➡ 内服薬は血管の炎症をおさえるための大事なお薬です。内服出来ないときは看護師に申し出てください。	➡ 内服薬は血管の炎症をおさえるための大事なお薬です。内服出来ないときは看護師に申し出てください。	➡ 内服薬は血管の炎症をおさえるための大事なお薬です。内服出来ないときは看護師に申し出てください。	➡ 内服薬は血管の炎症をおさえるための大事なお薬です。内服出来ないときは看護師に申し出てください。
食事	栄養指導 リハビリ		 普段通りの食事を摂ってください。	 普段通りの食事を摂ってください。	 普段通りの食事を摂ってください。	 普段通りの食事を摂ってください。
文書						
カルテ	医師					
	看護師 コメディカル					
コメント						
指導料・加算						